

ふっさ



市議会だより

No.226 令和3年10月25日
発行／福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



Twitter



Facebook



▲コロナ禍で工夫して行われた市内小学校の運動会の様子

令和3年第3回定例会

8月31日～9月28日

令和2年度各会計決算を認定

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を提出

令和3年第3回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、8月31日から9月28日までの会期29日間で開催されました。
17名の議員による一般質問が行われ、市長提出議案16件、委員会提出議案1件が審議されました。
新たに提出された陳情2件及び継続審査となっていた陳情2件は、不採択となりました。

委員会提出議案第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

【要望事項】

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。

4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
(提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、衆議院議長、参議院議長)

● 主な内容 ●

- ◆一般質問(要旨)……2～4面
- ◆令和2年度決算審査……5面
- ◆可決等された案件……6面
- ◆議案の審議結果……7面
- ◆委員会の審査……7～8面
- ◆特別委員会活動……8面

◆ 会議の 開催状況と 審議日程 ◆

▼8月	24日 議会運営委員会
	31日 第3回定例会1日目 議会運営委員会
▼9月	1日 第3回定例会2日目 議会運営委員会
	2日 第3回定例会3日目 議会運営委員会
	3日 第3回定例会4日目 決算審査特別委員会 全員協議会
	7日 決算審査特別委員会 1日目
	8日 決算審査特別委員会 2日目
	14日 建設環境委員会
	15日 市民厚生委員会
	16日 総務文教委員会
	17日 横田基地対策特別委員会
	22日 議会運営委員会
	28日 第3回定例会5日目 全員協議会 議会運営委員会
▼10月	13日 議会運営委員会

一般質問(要旨) 「市政のここを問う」



▲福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は11月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

小中一貫校について



正和会
杉山 行男 議員



質問 既に小中一貫教育の取り組みが行われ、全校がコミュニティ・スクールとなり、地域と学校をつなぐ仕組みも整っているが、本市には小中一貫校はない。今後、子どもたちを育てていく環境の整備がさらに進み、本市の教育を一層充実させるためにも、小中一貫校が必要と考

えるが、所見を伺う。

教育長 既に小中一貫教育を実践している自治体からは、学習面や生活指導面での成果や教員の資質・能力の向上が報告され、市教育委員会としては、高い教育効果が得られると考える。本市はこれまで各主任会、委員会の中で中学校区別に小・中学

校の教員が協議するなど、小中一貫教育に資する取り組みを意図的、計画的に設定してきた。今後、これまでの取り組みを生かしながら、小中一貫教育の有効性に鑑み、本市における小中一貫校の導入の在り方を、各校長の意見も踏まえ検討したい。



税収の現時点での状況について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 コロナ禍が収束しない中、本市の税収へも影響が生じていると思われるが、現状について伺う。

市長 令和3年度7月時点の調定状況は、個人市民税では3億1301万円、固定資産税では6538万円、都市計画税では1281万円と当初予算額を上回る状況となっている。市税等の

収納状況は、予算積算時の見込みより若干上向きの数値で推移している。**新型コロナウイルス感染症対策事業による他事業への影響について**

質問 新型コロナウイルス感染症対策事業が国や都の補助金で行われているが、その他の事業へ収入確保等の財政的影響があるのかを伺う。

市長 現時点では国や都の補助金等が大きく減額するという情報はないが、今後、国や都の財政悪化に伴い既存事業への補助金等の削減や廃止などにつながるものが危惧される。過去には予算不足や制度改正で大幅減額された実績もあるため、引き続き情報収集に努め適切に対処したい。



▲市民税、固定資産税等の納税通知書

コロナ禍における指定管理者の取組について



正和会
武藤 政義 議員



質問 コロナ禍で制約がある中、指定管理者は施設運営や維持管理にどのように取り組んでいるのか。

市長 事業の規模縮小や中止などの感染症対策を講じながら創意工夫を持って対応に努め、施設のサービスや維持管理の水準が保たれている。**通学時における児童・生徒の安全対策について**

策について

質問 児童・生徒が通学時に不審者に遭遇した場合に備え、どのように指導しているのか。あわせて教育委員会の不審者対策についても伺う。

教育長 東京都教育委員会の安全教育プログラムに基づき生活安全教育を実施、毎年セーフティー教室を

開催、不審者対策では防犯カメラ設置や青色防犯パトロールを実施。

質問 青色防犯パトロール開始の経緯、車両台数、運用方法を伺う。

教育部長 昨年11月の不審者情報を機に職員によるパトロールを強化。現在は車両数25台で、青色防犯パトロール実施基準を定め運用している。



▲青色防犯パトロールを実施するための青色回転灯つき公用車

サイクルシェアリングについて



公明党
堀 雄一郎 議員



質問 本市は平成26年から電動アシスト自転車によるサイクルシェアリング事業を継続しているが、先駆的であるがゆえにシステムの老朽化が進んでいる。更新への所見を伺う。

市長 広域連携を念頭に更新を検討してきた。ICTを活用しスマートフォン、タブレットを利用した会

員登録や利用予約等ができる仕組みの導入、ステーションや自転車台数の大幅増等、利便性や市内回遊性の向上を図る。令和4年から提供できるよう調整している。

福生市公共サイン整備方針について

質問 公共案内板や標識等の多言語表記は困難なことからピクトグ

ラムが有用と考えるが、所見を伺う。

市長 本市では、公共施設内のトイレやエレベーター等の表示にピクトグラムを活用している一方、屋外の案内看板等は日本語表示が主となっている。今後、公共サイン整備方針に基づき、積極的にピクトグラムの活用を考えたい。



▲サイクルシェアリングのステーションの様子

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域等の対策について



公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域等の具体的な安全確保の対策を伺う。

市長 平成27年度の道路ストック点検等で対策が望ましいとされた五日市街道からほたる公園までは、令和5年度までの予定でのり面対策工事を実施中。このほか、ハザードマ

ップの配布や当該区域の世帯への防災行政無線戸別受信機の貸与、台風や大雨で土砂災害が発生するおそれがある際は、市職員や消防団等による警戒活動を実施している。

避難行動要支援者の支援について

質問 災害対策基本法の改正で避難行動要支援者の個別避難計画作成

が市町村の努力義務となった。支援の現状と計画作成の所見を伺う。

市長 令和元年台風第19号で課題となった移送車両等は、昨年7月に福生市社会福祉協議会と協定を締結、人的協力と福祉車両等で速やかな避難を図る。個別避難計画は防災危機管理課と福祉保健部で調整中である。



▲災害時に避難支援で活用される福祉車両

児童・生徒に対する水難事故防止に向けた取組について



正和会
石川 義郎 議員



質問 全国の水難事故件数は年々微増傾向にある。本市での水難防止に対する認識と取組みを伺う。

教育長 本市は多摩川が身近にあり、川遊び等の危険性についての安全教育が極めて重要と考える。教育委員会では、大型連休前や夏季休業月前に通知文を発送し、安全指導の

徹底を図っている。また、市内小学校では、着衣のまま水に落ちた場合の対処方法を学ぶ着衣水泳体験を実施している。今後も指導内容や実践事例を共有し、安全教育の充実を図る。

質問 着衣水泳は小学校で行っているが、事故も踏まえ中学校でも体

験の機会を増やすべきではないか。

教育部参事 学習指導要領解説では、小学校5・6年の体育で着衣泳を積極的に取り扱うよう示しているが、中学校では任意の扱い。また靴を含め衣服を着用しプールに入るため、衛生面から多くは行えない。実施については校長会と意見交換したい。



▲市内河川敷の入り口に掲示されている水遊びに対する注意看板

木育について



公明党
青木 健 議員



質問 木育とは、子どもの頃から木を身近に使うことで、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むと定義される新たな教育で、国も木材への親しみや木の文化への理解を深めるとして推進している。環境問題にも寄与する木育について、本市の考え方を伺う。

市長 就学前の子どもには、平成30年度に市内8施設が都の補助金による園外活動「森と自然を活用した保育推進事業」を行ったほか、園舎への木材使用など日頃から自然との関わりを大切にしている。小学生以下の子どもが対象の事業では、観光案内所くるみるふっさで福生災害ボ

ランティアチェーンソー隊を講師にのこぎり体験など親子参加イベントを開催。一般市民には、今年度のふっさ環境フェスティバルで森林の講座や多摩産材製スマホスタンドの配布、木工製品の展示販売を行った。今後も新型コロナウイルス感染症を注視の上、木育事業を推進したい。



▲観光案内所くるみるふっさが開催した木育体験イベントの様子

新型コロナウイルス感染症に関連した子どもや保護者への対応について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 保育園等で臨時休園となる際に、家庭が孤立しないためどのような支援をしているのか。虐待の疑いや支援が必要な家庭にはどう対応しているのか。また、市は園に対しどのような支援をしているか伺う。

市長 ある保育園は、臨時休園中に保育士が子どもとビデオ通話をす

る等の工夫をしたと聞く。保育園は臨時休園中もPCR検査等業務に追われることから、市は文書作成や保健所との調整など最大限に事務を支援する。児童虐待等には、子ども育成課と子ども家庭支援課が情報を共有、状況に応じ支援する。今後も保育園や市民の後方支援を徹底して行う。

質問 子どもたちに影響がないよう各園において工夫したことを他の園と共有することが有効ではないか。

子ども家庭部長 市内保育施設等で感染が発生した際は、毎回他の施設に状況等の情報共有を図っている。この機会を利用し、好事例等も共有し、適切な保育に努めたい。



▲市内保育園における新型コロナウイルス感染症対策

特定外来生物クビアカツヤカミキリについて



正和会
串田 金八 議員



質問 本市における特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害状況について伺う。

市長 本市では平成27年7月に多摩川堤防沿い桜並木で成虫が発見され、30年度に専門家へ被害状況の調査を依頼、多摩川堤防沿い桜並木を中心に被害が確認された。市内全

域では、桜並木を含めた青梅線以西の被害が顕著で、青梅線以東でも一部被害が出ている。対策として、樹幹注入剤、薬剤散布等を実施。被害が顕著な場合はネット巻きを行い、羽化した成虫が飛翔することを防止し、被害の拡散を防いでいる。あわせて、桜並木にある全266本の木に

対して、成虫の捕獲作業と、新たな被害がないかの確認作業を福生市シルバー人材センターに委託。そのほか、職員による見回りを実施。また、市広報やホームページ、回覧やチラシ、市民説明会の開催など積極的な周知も行っているが、現時点では駆逐には至っていない。



▲クビアカツヤカミキリの成虫とネット巻きを行った被害木

新型コロナウイルス感染症に伴う職員体制について



正和会
小林 貢 議員



質問 緊急事態宣言発出以降の勤務体制の現状と、市民サービスや事業への影響について伺う。

市長 昨年4月の宣言以降、職員は交代制在宅勤務とした。宣言中等は時間外開庁は休止するが、窓口業務は通常どおり行い、市民サービスの根幹をなす事業も縮小せずに実施

している。ワクチン接種事業や国や都の交付金を活用した各種支援も実施しており、市民サービスや事業への影響は最小限と考える。

ごみ出し困難者への支援について

質問 高齢者や障害者など、玄関先へごみを持ち出せない「ごみ出し困難者」の把握と支援について伺う。

市長 家庭ごみのごみ出し困難者は、日常生活の支援も必要なことから、介護福祉課や地域包括支援センター、障害福祉課が把握し、介護保険制度や障害者総合支援法の範囲で対応。粗大ごみの場合、リサイクルセンターへの申込み時に福生市シルバー人材センターを紹介している。



▲シルバー人材センターによる粗大ごみ運び出しの様子

保育施設等における新型コロナウイルス感染症対応について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 保育関連施設等において感染が発生した際、施設や市はどのような対応をするのかを伺う。

市長 園児や職員に感染が確認された場合、市と施設側で早急に協議し、その後の対応を決定。必要に応じて保健所の疫学調査の補助等も行うなど機動的に対応する。施設からは、

可能な限りその日中に発生の事実や翌日からの体制等を保護者にお知らせする。濃厚接触者等が翌日に登園し感染拡大することを防ぐため、できるだけ早い通知を心がけている。

社会福祉協議会の充実強化について

質問 市制とともに社会福祉協議会も50周年を迎えた。社協を充実強

化させることについて、所見を伺う。

市長 社協の充実強化のための市の役割としては、①法人地域社会福祉協議会補助金等の財政的支援、②職員派遣や受入れの人的支援、③福祉センターの指定管理者とする施設等の支援がある。今後も連携を強化し、地域福祉を共に推進したい。



▲福生市社会福祉協議会(福祉センター内)

読書活動の推進について



公明党
原田 剛 議員



質問 市民の読書離れに危機感を覚える。市民総ぐるみの読書活動の推進について所見を伺う。

教育長 平成26年に福生市立図書館基本計画を策定、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館を目指し様々な事業を推進してきた。人口1人当たりの蔵書数は人口6万人未満

の都市で全国2位と極めて高い。乳幼児から高齢者までの各世代や外国籍の方、障害者や来館が困難な方など様々な市民へのサービスを充実。各館の特色や機能分担を明確化し、様々な世代の市民の豊かな読書活動を支える図書館運営を目指している。

質問 読書推進を考える上で、電

子図書の導入も感染症防止や貸出しの利便性から有効ではないか。

教育部長 所蔵スペースの確保や感染症防止対策には有効だが、閲覧に回数や期間の制約があり、長期保存も難しい。利用者が機器を用意する必要性があり、導入と維持の経費等、実現には多くの課題がある。



▲福生市立図書館基本計画(改訂)

CV-22オスプレイの6機目の正式配備について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 6機目が7月6日に横田基地に飛来したことが、7月20日に公表された。市の見解等を伺う。

市長 令和6年頃までに計10機が配備される計画は平成30年の段階で情報提供を受けていたが、今般の飛来や配備について、国から事前の情報提供はなく、大変遺憾だ。引き続

き都や周辺市町とも対策に取り組む。**コロナ禍における生涯学習や文化芸術施策等について**

質問 本市の生涯学習や文化芸術分野におけるコロナ対策の経過や取り組み、今後の展望を伺う。

教育長 各施設は緊急事態宣言等の期間中は休館や休場、開館時間短

縮や人数制限を実施。令和2年度は社会教育関係で計91の事業、講座等が中止となった。施設では飛沫防止パネル設置や消毒等を実施、利用者にも3密回避やマスク等の対策を要請した。市民からはコロナ禍でも学びや活動に取り組みたいという声が多く、適切な管理・運営に努めたい。



▲感染症対策を講じて市民会館で行われた成人式

特別障害者手当の周知について



日本共産党
池田 公三 議員



質問 本市における特別障害者手当についての周知方法を伺う。

市長 市ホームページや広報のほか、福祉サービスガイドブックに手当の内容を掲載し配布している。また、窓口で障害者手帳の申請に来られた方で受給の可能性がある方にはご説明している。

質問 本市の特別障害者手当の受給者数は。障害者手帳は、実際には発行されていなくても重度障害の診断書が提出されれば対象になる場合がある。また、ホームページでは施設入所中は支給対象外とあるが、国によるとこれは特別養護老人ホーム等のことで、有料老人ホームやサー

ビス付き高齢者住宅は在宅扱いだという。これらの記載は改善し、多くの方に制度利用の道を開くべきだ。

福祉保健部長 昨年度末の受給者は67人で全て障害者手帳所持者。手当の周知は関係課と連携し、介護保険事業者連絡協議会等も活用する。ホームページの記載も工夫したい。



▲各種手当や医療費助成等をご案内する「福祉サービスガイドブック」

バスロケーションシステムについて



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 7月に運用開始したバスロケーションシステム、通称Bus Go!の利用状況を伺う。

市長 7月から8月末までに1575回の利用があり、利用者からは便利と好評をいただいている。また、システムを利用していない方からバスの到着時間等を問合せされた際も職

員がシステムで位置を確認しお伝えしたり、コロナワクチンの予約支援窓口では帰りのバスの到着案内にも役立った。今後も周知に努めたい。

下の川緑地せせらぎ遊歩道公園等について

質問 市道に面したのり面は5年ごとの道路ストック点検で状態を観

察しているとのことだが、公園内部ののり面はどう対応しているのか。

市長 道路に面していない部分も平成29年度から30年度に点検を行っており、5年経過後の令和4年度から5年度に再度点検を実施したい。今後も定期点検のほか、日頃のパトロールで安全対策を図っていく。



▲バスロケーションシステムBus Go!の画面

保育施設等における新型コロナウイルスワクチン接種について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 保育士の仕事は子どもを預かるだけでなく、保護者が安心して仕事に行くことで生活を支えることができるという大切な役割を補っており、コロナ禍でも保育士が安心・安全に仕事ができる環境を整える必要がある。本市では他自治体より早々に保育士等のワクチン優先接種

を行ったと聞かすが、詳細を伺う。

市長 令和3年度当初、新型コロナウイルスワクチンの接種は医療関係者等に優先接種されていたものの、リスクが高いとされる保育士等には国の方向性が示されていなかったが、4月以降市内幼稚園・保育園の団体から要望が相次いだことから、7月

6日以降、市内の幼稚園、保育園、学童クラブや児童館職員等の希望者全員への優先接種を実施した。現時点で各施設の職員等のほぼ全員が2回目の接種を終え、皆様が安心して仕事ができる環境を近隣自治体に先んじて構築できたことは市としても喜ばしく、適切に対応したと考える。



福生市交通安全推進委員会における募集の現状と取組について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 交通安全運動の推進、交通安全思想の普及啓発を目的とする福生市交通安全推進委員は定員140名に対し現在75名だという。委員の確保に苦慮しているものと推測するが、現状と今後の取り組みを伺う。

市長 委員の中には長年にわたり委員会の活動にご尽力いただいでい

る方も多くいらっしゃるが、高齢化と後継者不足が現状の課題である。活動が平日に実施されることが多く、本業との調整が難しいため加入しても続けていくことが困難なケースもあり、後継者探しには大変なご苦労があると聞く。交通安全推進委員会は、今後も市の交通安全対策を推進

していく上でなくてはならない組織であり、市広報や安全安心まちづくりだより「あんまち!!」などで引き続き活動をPRするとともに、交通安全運動のキャンペーンや交通安全講習会、各種イベントなどでも周知を図るなど、交通安全推進委員会と連携しながら会員確保に努めたい。



▲福生市交通安全推進委員の活動の様子

可決等された案件(要旨)

●福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律及びデジタル庁設置法により、番号法の一部改正したことから規定を整備するもの。

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、個人の市民税に係る非課税の範囲等を整備するもの。

●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内閣府令「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」の一部改正に伴い、書面等の電磁的記録及び運用について規定を整備するもの。

●福生市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

令和3年7月の福生駅西口地区地区計画の都市計画決定に伴い、当該区域内の建築物制限に関する規定を整備するもの。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルス感染症対策の一環のキャッシュレス決済ポイント還元事業や本庁舎窓口のキャッシュレスシステム等導入、福生駅西口地区公共施設整備推進などの実施に当たり、歳入歳出それぞれ10億224万円を追加、総額276億4678万6千円とするもの。

●令和3年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

令和2年度特別会計決算に伴う繰越金並びに保険給付費等交付金の精算等のため、歳入歳出それぞれ3億3369万2千円を追加、総額68億9721万8千円とするもの。

●令和3年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

令和2年度介護給付費等の確定に伴う繰入金等の精算に際し予算を補正するため、歳入歳出それぞれ2億3591万1千円を追加、総額49億6600万5千円とするもの。

●令和2年度福生市一般会計決算認定

予算現額は、当初予算に補正14回を加え327億2682万8千円。歳入決算は320億1787万2026円、前年度比26・3%の増、歳出決算は313億6274万1635円、前年度比

●令和2年度福生市国民健康保険特別会計決算認定

予算現額は、当初予算に補正2回を加え69億5455万8千円。歳入決算は65億7422万8491円、前年度比3・3%の減、歳出決算は62億4053万5247円、前年度比4・7%の減。歳入歳出差引残額は3億3369万3244円。

●令和2年度福生市介護保険特別会計決算認定

予算現額は、当初予算に補正3回を加え47億2214万円。歳入決算は46億1537万3205円、前年度比5・4%の増、歳出決算は43億8081万9158円、前年度比4・8%の増。歳入歳出差引残額は2億3455万4047円。

●令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定

予算現額は、当初予算に補正2回を加え13億4325万1千円。歳入決算は13億3484万4365円、前年度比6・9%の増、歳出決算は13億671万230円、前年度比6・5%の増。歳入歳出差引残額は2813万4135円。

●令和2年度福生市下水道事業会計決算認定

収益的収入及び支出の収入決算は16億2404万9千円で前年度比3・9%増、支出決算は13億5216万2千円で前年度比3・9%増。資本的収入及び支出の収入決算は3億6494万5千円で前年度比4・1%減、支出決算は8億6592万5千円で前年度比11・9%減。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定について

新たに指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感染症自宅療養者等生活支援事業、事業者向け感染症対策強化支援事業、福生第一小学校及び第一中学校新校舎外壁及び屋上防水改良工事の実施に当たり、歳入歳出それぞれ8751万3千円を追加、277億3429万9千円とするもの。

●令和2年度福生市国民健康保険特別会計決算認定

収入決算は16億2404万9千円で前年度比3・9%増、支出決算は13億5216万2千円で前年度比3・9%増。資本的収入及び支出の収入決算は3億6494万5千円で前年度比4・1%減、支出決算は8億6592万5千円で前年度比11・9%減。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定について

新たに指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感染症自宅療養者等生活支援事業、事業者向け感染症対策強化支援事業、福生第一小学校及び第一中学校新校舎外壁及び屋上防水改良工事の実施に当たり、歳入歳出それぞれ8751万3千円を追加、277億3429万9千円とするもの。

●福生市教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、引き続き加藤孝子氏を教育委員会委員として再任することに同意するもの。

●福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴い、引き続き佐藤正明氏を固定資産評価審査委員会委員として再任することに同意するもの。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

●不採択
○エネルギー基本計画における再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書提出を求める陳情書(3・3号)
(不採択理由)
国が示すエネルギー基本計画の考えに沿うことが2050年カーボンニュートラルの実現にかなうものであること、また、陳情事項の2050年に電源構成を100%再生可能エネルギーとすることを目指す具体的方策が示されておらず、意に沿い難い。

●不採択
○安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書(3・4号)
(不採択理由)
医療、介護、福祉の十分な財源確保については、何を財源とするのか、その計画が明らかでないこと、また、社会保障に関わる国民負担軽減を図ることについては、高齢化や人口減少が続く中、現実的でないことから、意に沿い難い。

●不採択
○辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情書(3・5号)
(不採択理由)
普天間基地の代替施設については、国会において、その解決に向けて真摯に模索し、国が責任をもって取り組むべきことであり、意に沿い難い。

●不採択
○中国で不法に逮捕されている母(毛嘉萍)の早期救出を求める意見書提出に関する陳情書(3・6号)
(不採択理由)
陳情者の御心痛は計り知れないものであるが、陳情者の母親の不当逮捕については、客観的、公的な事実関係について確認し難く、意に沿い難い。

討論

●令和2年度福生市一般会計決算認定について

市民の生活を守り、地域振興のために福生市の財政力を積極的に活用していないこと。人口減少、特に子どもとその親世代の減少に対して、新たな施策がなかったこと。ふっさ子育てまるとくカードについては、市民業者、行政が一体となって支える子育て支援事業に転換されなかつたこと。福祉バスを市民誰もが乗れる市内循環バスに発展させることが検討されなかつたこと。横田基地撤去を国に求める立場が示されなかつたことから、本決算に反対する。

●賛成

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年であり、過去最大の決算額となった。感染症対策を十分に講じ、内容を工夫し実施された事業も多く、市制施行50周年記念式典、市営競技場「ネッツ多摩S&Dフィールド」オープンングセレモニー、成人式など、関係者が一丸となって実施された。また、事業者支援や子育て関連施策に大きな予算を投じ、中学校のICT推進事業も近隣市町村に先駆けて推進されたことから、本決算に賛成する。

●賛成

令和2年度は、年度を通じてコロナ禍での予算執行となり、特別定額給付金給付事業や子育て世帯応援キャッシュバック事業など多くの事業が実施され、新型コロナウイルスワクチン接種事業では、接種体制の構築に全庁あげて取り掛かった。また、

教育における全児童・生徒へのタブレット端末配備とその環境整備は高く評価するものであり、市民生活の維持向上や計画的に進める必要のある大部分の事業は遅滞なく執行に努められたことから、本決算に賛成する。

特別定額給付金給付事業は独自の取り組みも行い給付率が99・4%であったこと。高齢者感染対策事業や産後ケア事業の増加に対応し高齢者や妊婦とのつながりを持ち支援したこと。福生第一中学校不登校特例校分教室を設置したこと。全児童・生徒へタブレット端末を配備したことなど、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対応を迫られながら、常にできることを考え、市民に寄り添った多くの事業が実施されたことから、本決算に賛成する。

そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

●令和2年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●エネルギー基本計画における再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書提出を求める陳情書

●安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

●辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情書

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
市長提出議案								
議案第41号	福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	—	○	○	可決
議案第42号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	—	○	○	可決
議案第43号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	—	○	○	可決
議案第44号	福生市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	—	○	○	可決
議案第45号	令和3年度福生市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	—	○	○	可決
議案第46号	令和3年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	—	○	○	可決
議案第47号	令和3年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	—	○	○	可決
議案第48号	令和2年度福生市一般会計決算認定について	○	○	×	—	○	○	認定
議案第49号	令和2年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	×	—	○	○	認定
議案第50号	令和2年度福生市介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	—	○	○	認定
議案第51号	令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	×	—	○	○	認定
議案第52号	令和2年度福生市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	—	○	○	認定
議案第53号	福生市児童館等施設の指定管理者の指定について	○	○	○	—	○	○	可決
議案第54号	令和3年度福生市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	—	○	○	可決
議案第55号	福生市教育委員会委員の任命について	○	○	○	—	○	○	同意
議案第56号	福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	—	○	○	同意
委員会提出議案								
委員会提出議案第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	—	○	○	可決

9月14日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。また、陳情1件は不採択となりました。

●福生市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

問 再開発に伴う地区計画を定める理由と条例改正による効果は。

答 再開発事業の施行には地区計画のほか用途地域の再設定や新たな都市計画を定めなければならぬ。それに伴い、地区計画の内容に対する条例規定の整備が必要となるため、条例の一部を改正。また、条例改正で制限の緩和や規制を行うことにより、立地適正化計画で示す都市機能誘導区域と



●令和3年度福生市一般会計補正予算(第5号)

問 サイクルシェアリング事業の新規事業の詳細は。

答 広域連携を念頭に置き、官民の協働事業として公有地の貸与等を積極的に進め、民間事業者の参入を促進。貸出・返却拠点の設置箇所数を5箇所から約20箇所、自転車台数を35台から約60台にそれぞれ増やす予定。

●令和2年度福生市下水道事業会計決算認定について

問 令和2年度における具体的な事業内容は。

答 ストックマネジメント点検調査を実施した。管渠改良事業費のうち、工事請負費の雨水管渠更生については、防衛省の国庫補助事業で実施しており、横田基地からの雨水管の老朽化に伴う更生工事である。

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

9月14日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。また、陳情1件は不採択となりました。

9月15日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。また、陳情1件は不採択となりました。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第5号)

問 キャッシュレス決済システム等導入委託料における導入台数、委託業者の選定方法、また導入スケジュールについては。

答 証明書等を発行する窓口でセミセルフレジ2台、窓口の現金対応のため事務室内にレジ1台、また、キャッシュレス決済端末を3台以上導入する。事業者の選定は、公募型のプロポーザル方式を予定しており、今後11月下旬までに契約を結び、2月上旬には運用開始を予定している。

●令和3年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護給付費準備基金の高に、令和2年度決算後の剰余金を積立て、さらに令和3年度中に基金から介護保険特別会計に繰り入れる額を引くと、令和3年度末では約8億4700万円になる見込み。

●令和2年度福生市国民健康保険特別会計決算認定

問 ジェネリック医薬品の普及状況は。

答 後発医薬品利用差額通知は年10回送付し、通知は減少傾向であり、ジェネリック医薬品の利用率は、平成29年度72.1%、令和2年度81.8%と上昇傾向で、使用割合を令和2年度中に80%以

●令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定

問 後期高齢者健康診査の受診率の低下理由は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受診期間の短縮とコロナ禍による受診控えと考えられる。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定

なりました。

●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 保育所等の運営や保護者への影響については。

答 電磁的な方法による手続等は、これまでも実質的に行われ、書面での手続についても引き続き可能。運営や保護者への影響はほとんどない。

問 電磁的対応が雑則へ追加された理由は。

答 一般に雑則は技術的事項、手続的事項などで、条例全般に関することを定めるもの。今回条例で定めている手続全般について、包括的に電磁的対応が可能である旨の改正をするため。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第5号)

問 キャッシュレス決済システム等導入委託料における導入台数、委託業者の選定方法、また導入スケジュールについては。

答 証明書等を発行する窓口でセミセルフレジ2台、窓口の現金対応のため事務室内にレジ1台、また、キャッシュレス決済端末を3台以上導入する。事業者の選定は、公募型のプロポーザル方式を予定しており、今後11月下旬までに契約を結び、2月上旬には運用開始を予定している。

●令和3年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護給付費準備基金の高に、令和2年度決算後の剰余金を積立て、さらに令和3年度中に基金から介護保険特別会計に繰り入れる額を引くと、令和3年度末では約8億4700万円になる見込み。

●令和2年度福生市国民健康保険特別会計決算認定

問 ジェネリック医薬品の普及状況は。

答 後発医薬品利用差額通知は年10回送付し、通知は減少傾向であり、ジェネリック医薬品の利用率は、平成29年度72.1%、令和2年度81.8%と上昇傾向で、使用割合を令和2年度中に80%以

上にするという国の目標を達成している。

●令和2年度福生市介護保険特別会計決算認定

問 介護予防・生活支援サービスマターが前年度に比べ減る理由は。

答 新型コロナウイルス感染症予防のためデイサービス等の利用控えや人との接触を避けるために、訪問型介護サービスの利用を控えたことが要因と考えられる。

●令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定

問 後期高齢者健康診査の受診率の低下理由は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受診期間の短縮とコロナ禍による受診控えと考えられる。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定

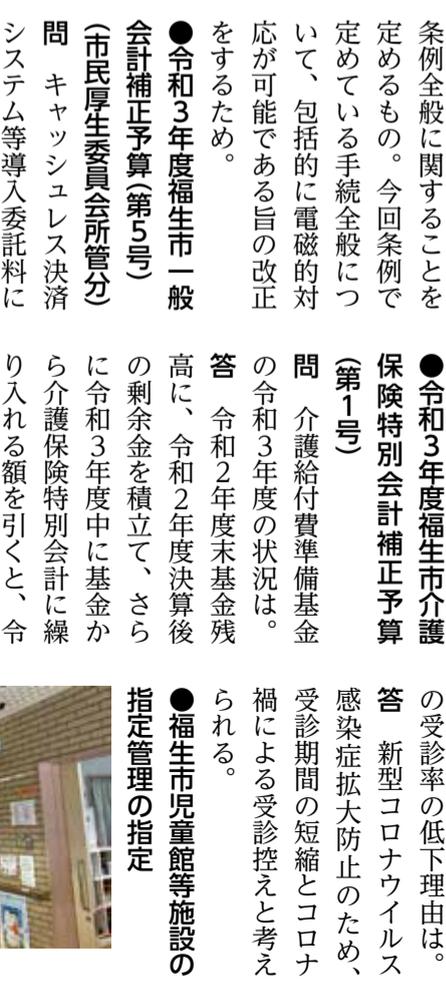
9月15日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。また、陳情1件は不採択となりました。

●令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定

問 後期高齢者健康診査の受診率の低下理由は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受診期間の短縮とコロナ禍による受診控えと考えられる。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定



●令和2年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定

問 後期高齢者健康診査の受診率の低下理由は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受診期間の短縮とコロナ禍による受診控えと考えられる。

●福生市児童館等施設の指定管理者の指定

問 指定候補者の選定の決め手になった点は。

答 児童館事業の運営方針、年間行事計画及び新たな事業等の提案や地域との連携に非常に力を入れている点が評価された。

総務文教委員会

9月16日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情2件は不採択となりました。

●福生市個人情報保護条例の一部を改正する条例
この条例改正による影響は。

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
この改正に至るまでの課題や問題は。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第5号)
(総務文教委員会所管)
市民文化祭事業について、中止となった経緯は。

新型コロナウイルス
答 新型コロナウイルス

感染症拡大の状況下において、参加者、来場者の安全の確保が困難であったことによる。

市営プールのろ過機更新工事の概要は。
答 老朽化が進む50メートルプール用ろ過機について、安全性の面から新しい設備に更新するもの。



▲市営プール (50メートルプール)

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。

次回定例会のお知らせ

令和3年第4回定例会(予定)

◆本会議 午前10時開会
11月30日(火)~12月3日(金)・17日(金)

◆常任委員会 午前10時開会
12月7日(火)~9日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。

特別委員会活動から...

横田基地対策特別委員会

9月17日に委員会が開催され、2件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地に関する情報等について

①6月14日に横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が山形空港に予防着陸した。現地にメンテナンス要員が派遣され、同機は6月20日に横田基地に帰投した。

②6月14日から25日、28日と29日、7月5日から9日に、人員降下訓練が行われた。

③既に配備されている5機に追加されるものとして、CV-22オスプレイ1機が7月6日に横田基地に到着した旨の情報提供が、7月20日に北関東防衛局からあった。

④8月5日にサムライ即応監査という、有事における即応態勢の維持強化のための訓練が行われた。



▲横田基地対策特別委員会の様子

2 国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について

例年実施している総務省への要望について協議した。

要望事項は、国有提供施設等所在市町村助成交付金及び施設等所在市町村調整交付金の増額、対象資産の範囲の拡大・拡充など、全4項目。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

9月17日に委員会が開催され、4件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 福生市における新型コロナウイルス感染症対策について

前回の8月3日以降の福生市新型コロナウイルス感染症対策本部会議は、26回開催され、総計で162回となったとの報告があった。

令和3年7月に発出された緊急事態宣言の延長に伴う対応について、また令和3年8月中旬から市内感染者数増加に合わせ、市職員の感染が急拡大したことに對する対応について、職員が感染した場合の公共施設の対応方針を現状に合わせて変更したことの報告があった。

委員から報告にある職員が感染したことへの対応について質問があり、西多摩保健所や市の産業医とも現状を確認し、117名のPCR検査を実施した結果、全員陰性だったとの回答があった。

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業について
ワクチンの搬入量について、8月に入り減少したが、9月15日時点で57箱、1万1115バイアルの搬入があったとの報告があった。

ワクチン接種率については、65歳以上の2回目の接種率が86・14%、全ての市民では、1回目の接種率が59・1%、2回目の接種率が48・57%との報告があった。

年代別の接種率は12歳以下が12・71%、20歳代が33・21%、30歳代が50・1%、40歳代が61・47%、50歳代が74・42%、60歳代が82・86%、70歳代が90・52%、80歳代が88・18%、90歳代が83・66%、100歳以上の方は66・67%との報告があった。



▲福生市ワクチン集団接種会場

3 社会・経済活動について
緊急事態宣言下での飲食店等の現状報告、また、外出等の自粛により、周りの接点をほとんど持たない社会的な孤立問題が起こっているなどの報告があった。

4 市議会感染症対応マニュアルについて

未知の感染症に對対応できるマニュアルの作成を目指すこと。また、タブレット端末の導入を見据えた遠隔会議の必要性の提案があった。

ご利用ください 福生市議会インターネット中継
パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴いただけます。
◆配信内容
本会議のライブ映像と録画映像
福生市議会インターネット中継

「声の市議会だより」をお届けしています
音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデージー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。
議会事務局 ☎042-551-1523

ケーブルテレビによる議会中継
多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。詳細は、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせします。

謹んでお悔やみ申し上げます

杉山行男議員 令和3年9月4日ご逝去
所属会派 正和会
所属委員会 市民厚生委員会
平成19年5月~ 市議会議員(4期目)
平成29年5月~ 31年4月 市議会議長

町田成司議員 令和3年9月24日ご逝去
所属会派 自民党福生
所属委員会 建設環境委員会
平成23年5月~ 市議会議員(3期目)
平成29年5月~ 31年4月 市議会副議長

編集後記

本定例会は、感染症拡大防止対策の徹底を図り、各種対応に追われている市職員の負担軽減の観点重視し行われました。一般質問は通告にもとづく質問時間の二割削減を努力目標とし、また令和2年度福生市一般会計決算審査特別委員会は、通常4日間の審査期間を2日間に短縮して行いました。各議員が的確な質問を心掛けたことで、質の高い一般質問及び決算審査となったものと思います。

また、12月定例会での試行実施及び3月定例会での本格実施を見据え、タブレット端末の研修会を各常任委員会終了後に行いました。SideBooksやLINE WORKSなどのアプリを使いこなし、議会運営及び議員活動の効率化・充実化を図っていきます。
9月4日、杉山行男議員が、24日、町田成司議員が急逝され、福生市議会も大きな悲しみに包まれました。福生市の発展に尽力し続けたお二人の姿を忘れることなく、あとを託されたものとして、国難の中にあっても、福生市議会は、市民の付託に応え、市政発展のため前進して参ります。心よりお悔やみ申し上げます。